

第12章 公害苦情

1. 公害苦情の対応方法

公害を防止し、良好な生活環境を確保することは、地域住民にとって切実な願いであり、市民から寄せられる公害苦情を迅速かつ適正に対応することは、環境行政に課せられた大きな役割の一つです。

本市ではこうした点を踏まえ、昭和45年に制定された公害紛争処理法第49条及び平成17年3月に制定した豊中市環境の保全等の推進に関する条例第9条（旧：昭和48年制定の豊中市環境保全条例第13条）に基づいて、公害の苦情対応業務を行っています。本市に寄せられた公害に関する苦情は、図12-1に基づいて対応しています。

市民からの苦情は、そのほとんどが電話によるものであるため、受け付けた苦情については苦情者宅を訪問するなどして詳しく事情を聴取し、公害発生の状況を確認したうえで発生源の現地調査を行い、双方の主張をよく聞いて適正な解決策を見いだすように努力しています。

公害発生の程度にも様々なものがあり、明らかに公害関係法規に違反している場合には、規制基準値等をもとに指導を行っています。

しかし、苦情の内容によっては、法規制の適否の判断が困難なものや、訴えの背景に複雑な近隣関係が潜んでいるものもあり、問題解決を長びかせる要因ともなっています。

また、建築基準法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律など他法令と関連する場合も多く、関係行政機関と連携しながら対応しています。

一方、事業者に対する指導は、公害の程度や被害の内容、立地条件さらには事業者の資金規模等、種々の条件に応じた指導指針を検討のうえ対応するようにしています。

この章では、令和2年度に本市が行った公害の苦情対応業務のうち、航空機に係るものを除く一般公害についてまとめています。（航空機に係るものについては、都市活力部空港課が対応しています。）

2. 公害苦情の発生状況

令和2年度に、豊中市が受け付けた公害に関する苦情は152件で、前年度に比べ23件の増加（対前年度比17.8%増）となりました。

全苦情のうち、典型7公害に関するものが151件で、種類別にみると、騒音が80件（52.6%）、次いで悪臭が30件（19.7%）、大気汚染が24件（15.8%）、振動が17件（11.2%）となっており、騒音と悪臭と大気汚染で全苦情の88.2%を占めています。

令和2年度は、典型7公害以外の苦情は1件（0.7%）でした。

令和元年度の苦情件数と比較してみると、騒音による苦情が7件、振動による苦情が12件、悪臭による苦情が7件増加し、大気汚染による苦情が3件減少しました。（表12-1）

発生源別でみると、建築土木工事が86件（56.6%）と最も多く、その他が41件（27.0%）、商店飲食店が10件（6.6%）、不明が8件（5.3%）、生産工場が7件（4.6%）となっています。

これは令和元年度と比較すると、建築土木工事が28件、その他が5件増加し、不明が7件、生産工場が3件減少となっています。（表12-2）

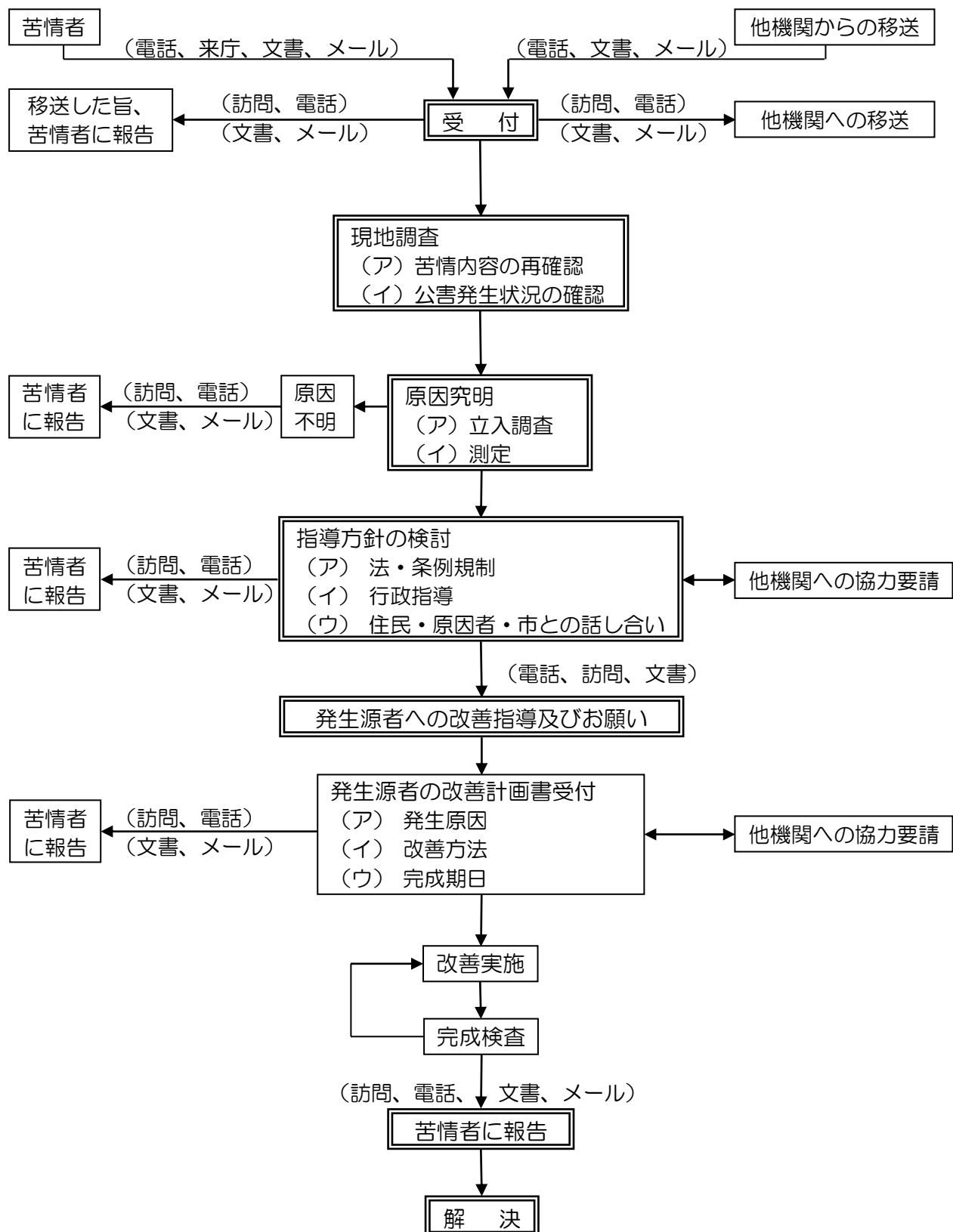


図 1 2 - 1 公害に関する苦情の対応方法

表12-1 種類別苦情件数

種類 年度	典 型 7 公 害								典型7公害以外のもの				合計
	大気 汚染	水質 汚濁	土壌 汚染	騒音	振動	地盤 沈下	悪臭	小 計	産 業 廃棄物	一 般 廃棄物	その他	小計	
平成 23	43	0	0	67	8	0	7	125	0	0	0	0	125
平成 24	40	0	0	63	5	0	10	118	0	0	2	2	120
平成 25	40	1	0	76	6	0	20	143	0	0	1	1	144
平成 26	25	0	0	51	9	0	16	101	0	0	1	1	102
平成 27	15	3	0	54	6	0	16	94	0	0	0	0	94
平成 28	20	1	0	47	5	0	19	92	0	0	4	4	96
平成 29	21	0	0	62	4	0	16	103	0	0	5	5	108
平成 30	19	1	0	66	7	0	29	122	0	0	1	1	123
令和 元	27	0	0	73	5	0	23	128	0	0	1	1	129
令和 2	24	0	0	80	17	0	30	151	0	0	1	1	152

表12-2 発生源別苦情件数

発生源 年度	生 産 工 場	建築土木 工 事	交 通 機 関	商 店 飲食店	その他	不 明	合 計
平成 23	9	49	0	13	51	3	125
平成 24	9	51	0	9	41	10	120
平成 25	10	64	0	11	47	12	144
平成 26	13	39	2	15	29	4	102
平成 27	5	41	0	15	21	12	94
平成 28	11	39	1	11	28	6	96
平成 29	7	40	1	13	39	8	108
平成 30	3	62	0	12	34	12	123
令和 元	10	58	0	10	36	15	129
令和 2	7	86	0	10	41	8	152

表12-3 令和2年度 公害苦情処理件数

受付年度・公害の種類 処理の方法		平成 30 年度 以前	令和 元 年度	令和2年度												合 計	総処理 件 数
				典 型 7 公 害								典型7公害以外のもの					
				大 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	振 動	地 沈 盤 下	悪 臭	小 計	産 業 廃棄物	一 般 廃棄物	その他	小 計		
直 接 処 理	工 場 等 移 転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	機械・施設の移転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	機械・施設の改善	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	故障の修理・復旧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生産工程・作業方法の改善	0	5	9	0	0	32	4	0	5	50	0	0	0	0	50	55
	操業時間の変更・短縮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	操業停止・行為の中止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	原因物質の撤去・回収・除去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	被害者の建物等への防止対策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自治体等の措置・説明に納得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	防除機械・施設の新設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	21	10	0	0	32	11	0	18	71	0	0	1	1	72	93
	計	0	26	19	0	0	64	15	0	23	121	0	0	1	1	122	148
他機関への移送		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
令和2年度へ繰越		2	1	5	0	0	16	2	0	6	29	0	0	0	0	29	32
合 計		2	27	24	0	0	80	17	0	30	151	0	0	1	1	152	181